

処遇改善のための道筋つける年に

関西鉄筋組合の新年互礼会

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）の「平成 24 年新年互礼会」が 1 月 11 日、大阪市北区のラマダホテル大阪で正会員、賛助会員ら約 60 人が出席して開催され、新たな年のスタートを祝福するとともに、今年 1 年のさらなる発展が誓い合われました。

互礼会ではまず、岩田理事長が挨拶し「戦略会議が示した労働 3 保険の加入は我々にとって重大な問題だが、我々自身がしっかりと方策を考え、国など行政に提案していくことが必要だ。職人の処遇改善の道筋を付けることが、我々の世代に課せられた使命であり、そのためにも職人が減少している今こそ、一丸となって適正な単価に戻せるよう努力していきたい」と決意を示しました。

この後、中山泰秀・前衆議院議員が組合の果たす役割と今後一層の発展に期待する祝辞を述べたのに続いて、組合の田中勲副理事長の発声で出席者全員が力強く乾杯し、祝宴へと移りました。

